

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)「人材の養成・教育研究上の目的」として策定している。本学科では、心身の健康創りに関する様々な知識や実践方法を身に付けた人材及び社会に貢献できる人材を育成しており、適切な内容と考えている。				
(2)心身の健康創りに寄与する人材を育成する本学科の目的は、大学の建学の精神である「行学一体、報恩感謝」と、本学科の目的の「人類の福祉と文化の発展に貢献すること」と密接に関係している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「人材の養成・教育研究上の目的」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/purpose1.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)健康科学部健康科学科の人材育成その他の教育研究上の目的は、「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示している。				
(2)大学のホームページ、履修要項等に記載し、教職員及び学生に周知するとともに社会に公表している。また、入学式当日の対面式(新入生保護者オリエンテーション)等でも当該事項について詳細に紹介している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
人材の養成・教育研究上の目的」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/ 】				
「2023年度 履修要項」(人材の養成・教育研究上の目的)				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。 ※各学部・研究科の自己点検・自己評価委員会の年2回以上の開催及び委員会での取り組み内容について具体的に記載してください。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 毎月学科会議を開催し、学科の教育研究上の問題点について協議している。特に、本学科では学生の就学状況について問題のある学生の情報共有に努め、各教員が迅速かつ適切に学生指導ができる体制を整えている。健康科学部自己点検・自己評価委員会を2回実施し、第1期学部学科の中期目標計画の確認と検証、DP学修成果達成状況の確認と検証、教員業績および教員の諸活動における自己点検・自己評価、学修状況実態把握に関するアンケート結果の検証、2022年度卒業時アンケート結果の報告等を行った。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
健康科学科学科会議議事録(2023年度第2回～第10回)				
2023年度健康科学部自己点検・自己評価委員会議事録(第1～2回)				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準2」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)高齢化先進国となった日本では、病気や怪我の治療だけではなく、健康増進や疾病予防、早期治療など幅広い健康づくりへの貢献が求められている中で、知識や指導力・実践力、課題解決力、協働力、倫理観はいずれも必要な能力であり、健康科学にふさわしい学修成果である。そして、これらを大学ホームページ、履修要項等で公表している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「ディプロマ・ポリシー」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma01.pdf 】				
卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)(健康科学部履修要項)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な関連性がありますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 教育科目については、多様な領域の授業展開、講義科目と連携した実技系・演習系科目といった編成・内容に関する方針が設定されている。授業形態については、グループ学習やアクティブラーニングの積極的推進が設定されている。そして、これらは、大学ホームページ、履修要項に公表している。また、具体的なカリキュラムについては、ホームページ、大学案内、履修要項、学科パンフレット等で公表している。				
(2) (1)の記載内容は、ディプロマ・ポリシーの記載事項を具体的に示したものであり、適切な関連性がある。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「カリキュラム・ポリシー」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/curriculum01.pdf 】				
健康科学科カリキュラムツリー（健康科学部履修要項）				
健康科学科カリキュラム概要（健康科学部履修要項）				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 ＜学士課程＞ 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 ＜修士課程、博士課程＞ コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)教育課程において、多様な領域の授業展開、多くの実技系・演習系科目が編成されており、編成・実施方針との整合性は取れている。				
(2)本学科は、3コースが設定されているが、1年次は共通の専門科目が多く配置されており、健康科学の基本を習得する。2年次以降、コースごとの専門科目が本格的に始まり、学年進行と共に選択の幅が広がる。一方で、全ての科目内容を把握して授業を履修するのは難しいことから科目群を設定し、体系的な学修ができるよう配慮している。必修科目は、1年次の入門科目とプレセミナー、3・4年次のゼミのみで学生が選択しやすいカリキュラムとなっている。				
(3)カリキュラム・ポリシーにて、その推進が掲げられているグループワークやアクティブラーニングは多くの授業で導入されている。アクティブラーニングの導入率は、80.9%と高い割合である。これらの内容については、シラバス作成・チェック時に整合性を確認している。				
(4)1年次に卒業必修の専門基礎科目である入門科目と、プレセミナーⅠとⅡ(少人数教育)を配置し、健康科学の基本を学ぶための充実した初年次教育を実施している。具体的には、入門科目は、 医学・健康・スポーツの入門として、高校までの学びと大学での学びをつなぐものとして位置づけている。またプレセミナーⅠ・Ⅱでは、パソコンスキル、プレゼン、レポート作成など大学での学びに求められる方法論についても学修する。				
(5)キャリアに関する科目として、「健康キャリア論」「インターンシップ」を設置している。社会的自立を図るために、ボランティア活動を推進する「ボランティア演習」を設定している。また講演会において、本学科卒業生を講師として招き、社会的及び職業的自立を図っている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「カリキュラム・ポリシー」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/curriculum01.pdf 】				
健康科学科カリキュラムツリー(健康科学部履修要項)				
健康科学科カリキュラム概要(健康科学部履修要項)				
健康科学会講演会チラシ				
シラバス				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。 また、授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。 (教員・学生間や学生同士のコミュニケーション機会の確保、グループ活動の活用等)	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 ＜学士課程＞ ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 ＜修士課程、博士課程＞ ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)シラバスに授業時間外の学習を記載するだけでなく、授業内でも随時指導している。また、履修登録単位数の上限を設けている。講義内容について予習や復習の成果をみるために、定期的に小テストや発表を行うなどの工夫を凝らしている。資格課程に関する科目を含め50単位を超えて履修する学生が相当数いることに対し、2024度については、ガイダンスや履修指導の際に、履修単位数が上限までならないように指導していく方針である。2025年度以降については、現在、健康科学科教育力向上推進ワーキンググループにて、カリキュラム改変の検討を行っており、履修単位数の是正を行う予定である。				
(2)各科目のシラバスに、授業のテーマや授業の概要、授業の到達目標、授業計画、評価方法・基準等を明示している。また、資格によっては資格認定団体にシラバスを提出する必要があるため、認定団体から承認が得られるようにシラバスの修正を行っている。授業内容とシラバスとの整合性については、授業評価アンケートにて設問を設けており、各教員が自己点検・自己評価している。				
(3)多くの授業で、少人数教育、グループワーク、アクティブラーニングが導入されており、学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置が適切に講じられている。アクティブラーニングの導入率は、63.2%と高い割合である。これらの内容については、「健康科学部研究授業(事例集)」、プレセミナー教材(web)にて、共有がなされている。				
(4)教育効果向上のために、可能な範囲でクラスに分けて授業を実施している(講義科目2クラス、実技・演習科目2～5クラス)。資格取得にあたっての科目選択が複雑なこともあり、専門ガイダンスの実施、プレセミナーでの指導など適切な履修指導を実施している。特に新入生には対しては、教務課と教養部と協力して履修ガイダンスを実施している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
健康科学部研究授業(事例集)				
シラバス				
プレセミナー教材(Teams内)				
授業評価アンケート				
時間割表				
健康科学科教育力向上推進WG(第1回～第5回)議事録				
健康科学科カリキュラム案(25Z～)				
専門ガイダンス配付資料				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。 また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2)	成績評価の客観性、厳格性、公正性、公平性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3)	卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(4)	〈修士課程・博士課程〉 学位論文審査基準を明示し、公表していますか。	
		(5)	学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するために どのような措置を講じていますか。 学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(6)	適切に学位授与を行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など 第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)「愛知学院大学の単位認定及び成績評価に関するガイドライン」に準じて、成績を評価している。既修得単位については、 履修要項(単位認定)に示し、適切に認定している。				
(2)全学的に「愛知学院大学の単位認定及び成績評価に関するガイドライン」を施行し、成績評価の厳格化を図っている。成績 評価方法については、シラバスに記載し、その適切性については、シラバスチェックの際に確認している。				
(3)卒業要件を学則で定めており、履修要項に掲載している。				
(4)				
(5)「愛知学院大学学位記授与に関する規程」に則り、卒業認定は、学部教授会で審議した後、代表教授会で行っており、学位 授与の客観性、厳格性を確保している。				
(6)「愛知学院大学学位記授与に関する規程」を遵守し、学科会議で学位授与について検討した後、学部教授会、代表教授会 を経て学位授与が決定している。専門職として社会貢献をする学生は多く、就職決定率も高いことから学位授与のレベルは保 たれており、適切な学位授与と言える。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
単位認定(健康科学部履修要項)				
学則(健康科学部履修要項)				
健康科学科就職決定率及び就職先				
健康科学科学科会議議事録(2023年度第10回)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。 (特に専門的な職業との関連性が強いものにあつては、当該職業を担うのに必要な能力の修得状況を適切に把握できるもの。)	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)直接的指標として、資格合格率、教員採用合格率、卒業論文を設定している。直接・間接的両方を含む指標として、GPA、単位取得数、PROGテスト、就職先を設定している。間接的指標として、新入生アンケート、学修状況実態把握に関するアンケート、卒業生アンケートを設定している。				
(2)資格合格率、教員採用合格率、卒業論文については、各教員よりデータを集約している。GPA、単位取得数、PROGテスト、就職先、学修状況実態把握に関するアンケートについては、関係各部と連携し、データを集約している。新入生アンケートについては、学科独自で実施し、毎年学科会議にて調査項目を審議している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
新入生アンケート結果				
学生データ				
健康科学科学科会議議事録(第2回、第3回、第6回)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) ⑥の記載事項のデータを集約次第、その都度学科会議で評価している。言語聴覚士国家試験、教員採用試験、健康運動指導士・健康運動実践指導者認定試験の結果については各担当者が点検・評価を行っている。				
(2) ⑥の記載事項のデータを集約次第、その都度学科会議で検討している。言語聴覚士国家試験、教員採用試験、健康運動指導士・健康運動実践指導者認定試験の結果を踏まえ、各担当者が改善・向上を行っている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
健康科学科学科会議議事録(第2回、第3回、第6回)				
言語聴覚士国家試験、教員採用試験、健康運動指導士・健康運動実践指導者認定試験の報告				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準4」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 入学者受入れの方針(AP: アドミッション・ポリシー)として、大学ホームページ、入試要項等で公表している。健康科学を活かしたアプローチができる人材を養成する本学科としては適切な内容と考えている。				
(2) 入試要項で各試験別に学科が求める学習歴、学力水準、能力等を公表している(大学ホームページでも公表)。アドミッション・ポリシーでは学科が求める学生像を示している。大学全体として多様な人材を幅広く求める趣旨から、入試方法の選択肢を多くしている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「アドミッション・ポリシー」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/admission01.pdf 】				
「入試要項」ウェブサイト【 https://navi.agu.ac.jp/examination/ 】				

基準5. 学生の受け入れ

組織名

健康科学部健康科学科

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)健康科学科では、学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を設定している。高大接続型入試や推薦入試では、健康科学科の教育方針の理解を確認して選抜をしている。一般入試では健康科学科の学びに相応しい学力を有しているかを試験によって評価し入学者を選抜している。				
(2)愛知学院大学入学試験委員会規程に基づき、健康科学科では毎年入試委員を選出し、大学の入試委員会に出席し、大学および学科の学生受け入れ方針に従い、入学者選抜を実施している。				
(3)健康科学科では、学生募集および入学者選抜が、学生の受け入れ方針に基づき公正かつ適切に実施されているかについて、教授会、入試委員会等を通して定期的に検証している。				
(4)別室受験、拡大解答用紙の使用、試験時間の延長、医療機器の試験室への持ち込み等については対応している。また、通常の試験室でも「出入口に近い席」「一番後方の座席」等でも対応することがある。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「入試要項」ウェブサイト【 https://navi.agu.ac.jp/examination/ 】				
「愛知学院大学入学試験における受験上の配慮」				
「愛知学院大学身体障害者等受験上の配慮申請書」				

基準5. 学生の受け入れ

組織名

健康科学部健康科学科

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 ＜学士課程＞ ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 ＜修士課程、博士課程＞ ・収容定員に対する在籍学生数比率	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 健康科学科の学生のレベルを一定に保つためにも、定員数を超過して受け入れることがないようにしている。また、高大接続型入試や推薦入学の合格者数・入学者数も適正な人数とし、質の確保に努めている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「入試ガイド 過去の入試データ」ウェブサイト【 https://navi.agu.ac.jp/examination/result/ 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 入学後の修学状況(出席状況、成績、PROGテスト、就職状況)、新入生アンケート、入試データを集約し、学生の4年間の成長を踏まえた点検・評価を行っている。				
(2) 上記のデータを集約し、入学定員、高大接続型入試、指定校推薦等に関して、健康科学科入試検討ワーキンググループで検討している。このワーキンググループでの検討結果を学科会議にて審議している。				
【根拠資料名】上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
入試検討ワーキンググループ議事録(2023年度第1回)				
健康科学科学科会議議事録(第2回、第10回)				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既の実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準5」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針(分野構成、各教員の役割、連携のあり方、教育研究に係る責任所在の明確化等)を適切に明示していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 健康科学科は、医療・保健衛生、教育、福祉、スポーツなどの多彩な領域で活躍できる多様な資格(保健体育教員、養護教諭、健康運動指導士、言語聴覚士など)を取得することが可能である。医療・保健、教育、スポーツ分野の多岐性を勘案し、各分野の素養を有する職業人(スペシャリスト)の養成において優れた研究業績を有する教員組織の編制を、「健康科学部健康科学科教員組織の編制方針」に基づいて行っている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
健康科学部健康科学科教員組織の編制方針				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教員組織の編制に関する方針と教員組織の整合性 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員（教授、准教授、講師又は助教）の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置（国際性、男女比等も含む） ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 2023年度において、学年180名の定員に対して専任教員（客員教授含む）17名、助手2名である。加えて、今年度、専任教員を1名採用した（2024年4月着任）。専門職を有する教員が適正に配置されている。				
(2) 教員数が減員した段階で、補充人事を実施している。2023年度は、講師1名採用（2024年4月着任）を行った。				
(3) 2023年度教員公募を行った教授採用の際は、年代、学位、分野、資格、職位等について、学科会議で審議し、適切に教員組織の編成を行った。				
(4) 教養教育科目24単位、専門教育科目92単位を卒業必修とし、残りの12単位は教養教育科目と専門教育科目を自由に選択できるようにしている。このように、学生のニーズに応じて学びの自由度を広げることによって学士課程における教養教育の意義を位置づけている。健康科学科は目的とする資格取得に応じて教養教育科目と専門教育科目を選択する必要があり、このような教養教育の位置づけが適切と考えている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
健康科学部健康科学科教員選考内規				
各教員の専門【 https://aris.agu.ac.jp/aiguhp/KgApp?courc=22005000 】				
「学則別表7」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/2021/gakusoku-2.pdf 】				
健康科学科教員採用公募要領				
健康科学科カリキュラム概要(健康科学部履修要項)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)「健康科学部健康科学科教員選考内規」に基づき、原則公募として教員選考を実施している。選考ならびに昇任については文部科学省の大学設置基準ならびに学内規程に従って実施している。また現在、教員採用及び昇任のプロセスに関する規程の整備を行っている。				
(2)「健康科学部健康科学科教員選考内規」に従い、適切に昇任人事を実施している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
健康科学部健康科学科教員選考内規				
健康科学科学科会議議事録(第9回)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。 ・教育改善以外に研究の活性化や社会貢献等の教員に求められる 諸活動について資質向上を図る取り組みの実施 ※学部及び大学院について、それぞれの内容に特化したFD活動を行っているか、併せてご確認ください。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)教育開発研究センター委員会を中心に、教育方法の共有を行っている。新任専任教員対象健康科学部FD研究会、健康科学部研究授業の対面公開、健康科学部事例集共有型研究授業の実施、健康科学部FD研究会				
(2)教員の教育活動、研究活動、社会活動等を教員業績システムにおいて、目標・計画及び自己評価を入力しており、教育・研究・社会活動の活性化に役立てている				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
健康科学科教員業績システム				
心身科学研究所講演会チラシ				
健康科学部研究授業(事例集)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 学科内の役割分担について、毎年学科執行部ミーティング及び学科会議にて、点検・評価を行っている。				
(2) 学科内の役割分担について、毎年役割を変更しており、一部の教員に負担が偏らないよう改善している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
健康科学科学科会議議事録(第7回～第9回)				
執行部ミーティング議題(第7回～第9回)				
健康科学科役割分担表				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準6」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)シーホース三河との連携協定を始め、地域の企業・団体(中日新聞社、朝日新聞社、名古屋ウィメンズマラソン実行委員会、にしんスポーツクラブ、岡崎製材等)と連携体制を構築し、地域活動を実施している。国際交流事業は、アジア太平洋言語・音声・聴覚言語学会(ホーチミン)への学生参加、ギャローテッド大学大学院言語聴覚士コース学生とのZOOM交流会を行った。				
(2)「ボランティア演習」、「プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ」の設置、ガイダンスでの募集など、国内外のボランティアやインターンシップなどの課外活動を積極的に推進している。これらの活動は全て実践的な活動であり、学生教育の成果を社会に還元している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
健康科学科公式Instagram				
カリキュラム・ポリシー				
「ボランティア演習」、「プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ」シラバス				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)「ボランティア演習」における学生のレポートや各々の活動における学生の取り組み状況・アンケート・ミーティング等を基に振り返りを行っている。				
(2) (1)の振り返りを踏まえて、各連携団体・企業と協議を実施している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
シーホース三河ホームゲームインターンシップ振り返り				
岡崎製材ボランティア活動振り返りアンケート				
ボランティア演習受講学生振り返りシート				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A